

服飾表現学科・スタイリング専攻

1.課程修了時の能力水準

ディプロマポリシーで定められているコースの専門職業人の人材育成を目標としている。
コースの課程修了時に達成されることが期待される能力の水準は「学生の学習成果の評価の方針（アセスメントポリシー）」の表に定められている水準である。
スタイリストの基礎力として、過去から現在までにおける服飾表現の流れ（或いは“流行”）を把握し、社会においてのファッションの役割の上に表現できる能力の育成を目的とする。TVや雑誌で、モデル、タレント、アーティストの魅力や個性を引き出すスタイリングをするスタイリストなどの人材の育成を目標とする。

2.各年次の能力水準

多くの卒業生に関わっている企業や卒業生の意見を基に各学年における到達目標を定めている。
GPA 制度の評価方法は、科目の成績を 5 段階で評価したものに、S=4、A=3、B=2、C=1、D=0、のグレードポイント（GP）を付与し、奨学金の選抜や卒業時の代表の選考等に活用している。

2 年次：専門コースの基礎知識における学力到達目標

時代ごとの流行・ファッションの基本を把握できる能力

: 実務認識をもつ

・実務経験者との展示・映画の鑑賞を通して実務認識の視点を理解する（全員）

: 学部評価としての検定

色彩能力検定 3 級（全員）

: 評価基準（スタイリング演習 I）

準備学習等の意欲や学習態度・姿勢… 30%

基礎課題 … 30%

応用課題 … 30%

プレゼン能力 … 10%

: 評価者

（学内） 2 年担当者評価

（学外） なし

3 年次：専門コースの応用知識における学力到達目標

・雑誌・写真・広告等におけるファッションの位置づけを理解し、流行と社会の関係を理解できる能力

・人と衣服の関係を理解できる知識とスタイリング技術

: 学部評価としての検定

色彩能力検定 2 級(全員)

: 実務認識をもつ

- ・実務経験者との展示・映画の鑑賞、ファッション撮影実践を通して実務認識の視点を理解する（全員）

: 評価基準（スタイリング演習Ⅱ・Ⅲ）

| | |
|--------------------------|-------|
| 準備学習等の意欲や学習態度・姿勢 | … 30% |
| 作品（観察力・企画力・コーディネート力・完成度） | … 50% |
| プレゼン能力 | … 20% |

: 評価者

（学内） 3年担当者が評価

（学外） なし

4年次：専門コースの卒業年次における学力到達目標

- ・独自の個性を生かした作品を通して不特定多数に向けてメッセージできる能力

: 学部評価としての検定

色彩能力検定2級（全員）

: 実務認識をもつ

- ・卒業制作の研究ノート作成にあたって企業のリサーチ、インタビュー等を行う

: 評価基準（4年次授業科目名を書く）

| | |
|--------------------------|-------|
| 準備学習等の意欲や学習態度・姿勢 | … 30% |
| 作品（観察力・企画力・コーディネート力・完成度） | … 50% |
| プレゼン能力 | … 20% |

: 評価者

（学内） 4年担当者が評価

（学外） なし